

2018

南風再起

「テクノロジー・人文・生活」



2018南部科学工業園區年間報告書

目次

04 局長の挨拶

体質を強化 過去を顧み、
将来を見据える

05 沿革

07 産業の動向

11 産業クラスターの強化

17 イノベーション人材育成

21 研究開発の躍進

安心な暮らし 豊かな生活

24 多様なサービス

32 目覚ましい成績

33 人材の育成



持続可能な環境作り「四生一体」

38 緑ある暮らし

39 芸術の趣

台湾から国際化への布石

44 世界への窓

46 マーケティングアプローチ

未来を見据えた南科のビジョン

51 未来の展望

2018年の南科出来事



2018年、南科管理局は数多くの政策や任務を請け負い、遅れず、全てに努力して取り組み、多大な成果を上げることができました。

中でも我々は「産業クラスター」を拡大し、企業の競争力を高めることに努めました。台湾積体回路製造TSMCは線幅3ナノメートル製造プロセスを導入するウェハー工場を南科で建設すると発表し、また 華邦電子WINBONDの高雄工場も2018年に着工しました。環保署は2018年12月、2019年1月の環境影響評価会議にて環境アセスメントの手続きによって台南園區、高雄園區の環境影響評価書の審議を認可し、あらためておよそ52ヘクタール用地が提供可能になりました。また、継続的に「南科スマート製造産業推進計画」、「南部バイオメディカル産業イノベーション推進計画」、「南科航空宇宙工業計画」を推進することによって、産業体質を強化し、産業クラスターをより強固なものにすることを目指しています。

我々は「起業バイオーム」を強化し、産業イノベーションや事業転換に協力します。積極的に園區のスマートロボットイノベーションメーカースペース(Maker Space)計画を推進し、境界領域における人材の育成を行い、国内で初めてISO認証されたスマートロボットメーカースペースとして評価されました。また、第一回「TAIRA Final Pitch」大会を開いて国内外の10組の優秀なチームを選出し、聯華電子をはじめ14大企業とマッチングして技術のチャージや共同のプロジェクトを立ち上げ、同時にグーグルやアマゾンなどのグローバル企業の賛同も得ました。

我々は「持続可能な環境作り」をモットーに、良質な職場を提供しています。南科園區の職場安全性の実績が英国安全評議会(British Safety Council)に評価され、国際安全賞(International Safety Awards, ISA)を獲得しました。これは台湾及びアジアの行政機関としても唯一の受賞という快挙です。また文化部第六回パブリックアート賞でも、「一般参加賞」、「芸術創作賞」を獲得しました。

管理局全員は常に新しさを求める態度、献身的なサービス精神を持ち、園區すべてのパートナーと新しい境地にチャレンジし続けます。

科技部南部科学工業園區管理局

局長

林威星

南部科学園區(以下「南科」と省略)は台南園區と高雄園區を含み、行政院が1991年に発表した「国家建設六年計画」における「新設科学工業園區」の構想により設立が確定されました。その後1993年には「經濟振興方案」が通り、同時に「南部科学工業園區の増設案」が提出された結果、1995年5月に南部科学工業園區設立計画(台南園區第1期基地)が認可され、南台湾はここからハイテクノロジー産業の発展に向けて大きな一歩を踏み出しました。また、2001年4月と9月にはそれぞれ路竹園區(高雄園區)及び台南園區の第2期基地が認可されました。



▲台南園區交通図



▲高雄園區交通図

台南園區は台南市新市、善化及び安定の3区に位置し、面積は1,043ヘクタール、主要産業はオプトエレクトロニクス、半導体産業、精密機械、バイオテクノロジー及びグリーンエネルギー等を有しています。交通アクセス面は非常に整備されており、車を利用する場合は国道1号線または国道3号線から国道8号線の新市インターチェンジ、省道台1線を經由し、連絡道路を経て園區に到着することができます。公共交通機関を利用する場合は、台鉄沙崙線から台湾鉄道の電車を利用して南科駅あるいは善化駅で下車し、南科無料巡回バスに乗り換えることで園區に到着することができます。

高雄園區は高雄市路竹、岡山及び永安の3区に位置し、面積は約567ヘクタール、主要産業は光エレクトロニクス、精密機械及びバイオテクノロジー(医療器材)等を有しています。交通アクセス面では、車を利用する場合は国道1号線高科インターチェンジから外部連絡道路より園區に到着することができます。公共交通機関を利用する場合は、台湾鉄道の路竹駅或いは岡山駅で降り、さらに省道台1号線を経て到着することができます。また、高雄MRTのシャトルバス紅67A線を利用することも可能です。今後、高雄MRTは路竹エリアまで拡張される見込みのため、より一層便利にご利用いただけます。園區から高雄小港国際空港までは約35 km、高雄港までは約40kmという国際輸送において極めて有利な条件を有した場所に位置しています。



体質を強化 過去を顧み、将来を見据える

産業の動向

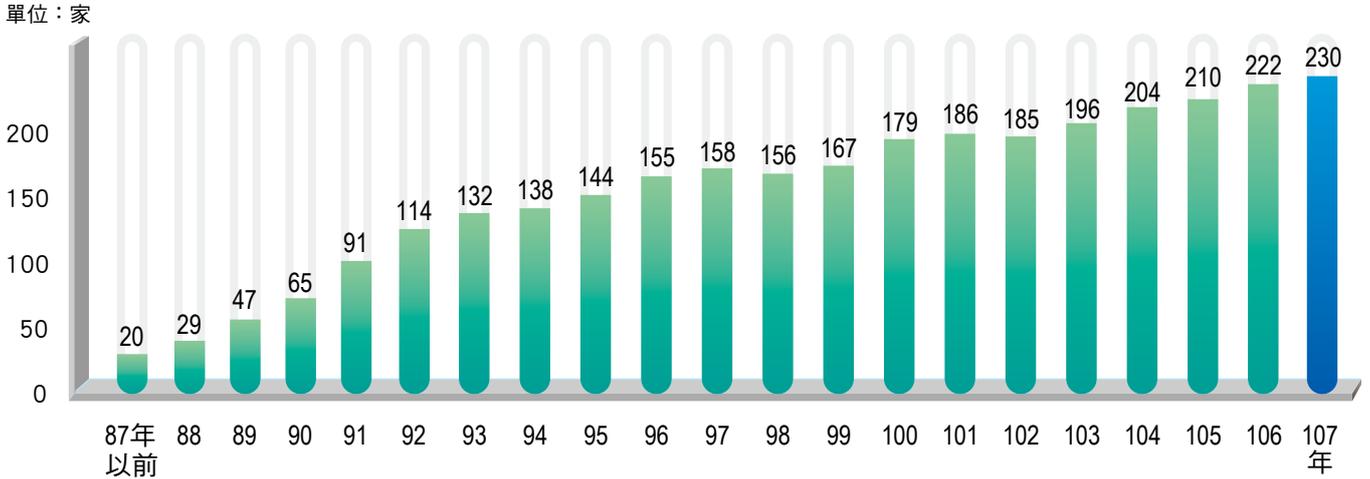
産業クラスターの強化

イノベーション人材育成

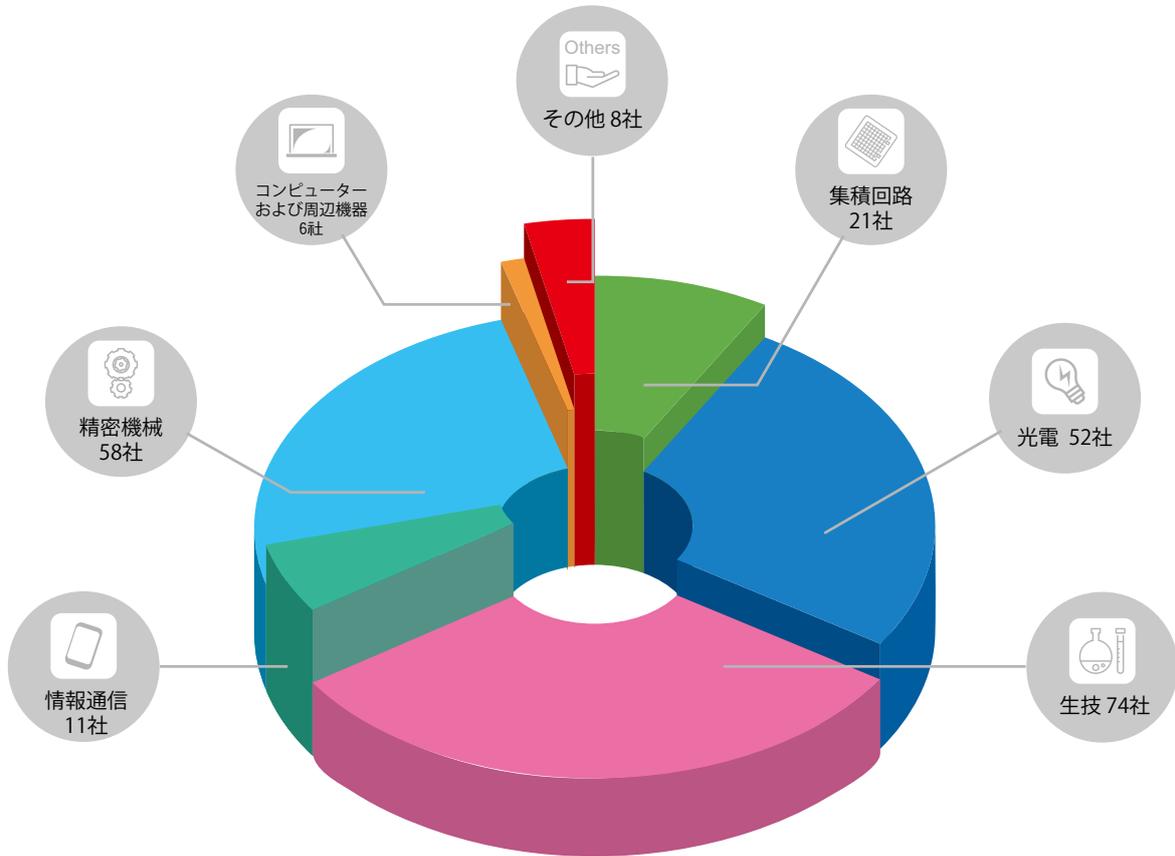
研究開発の躍進

良質な環境 盛んな投資

南科は良質な環境にあり、近年、国内外の企業が続々と進出しています。南科は2018年に22社の企業(4社のスタートアップ企業を含む)を誘致し、約48.12億元を投資、11社の工場を建設し、2018年までの有効許可企業は累計230社に達しています。



例年の累計有効許可企業数



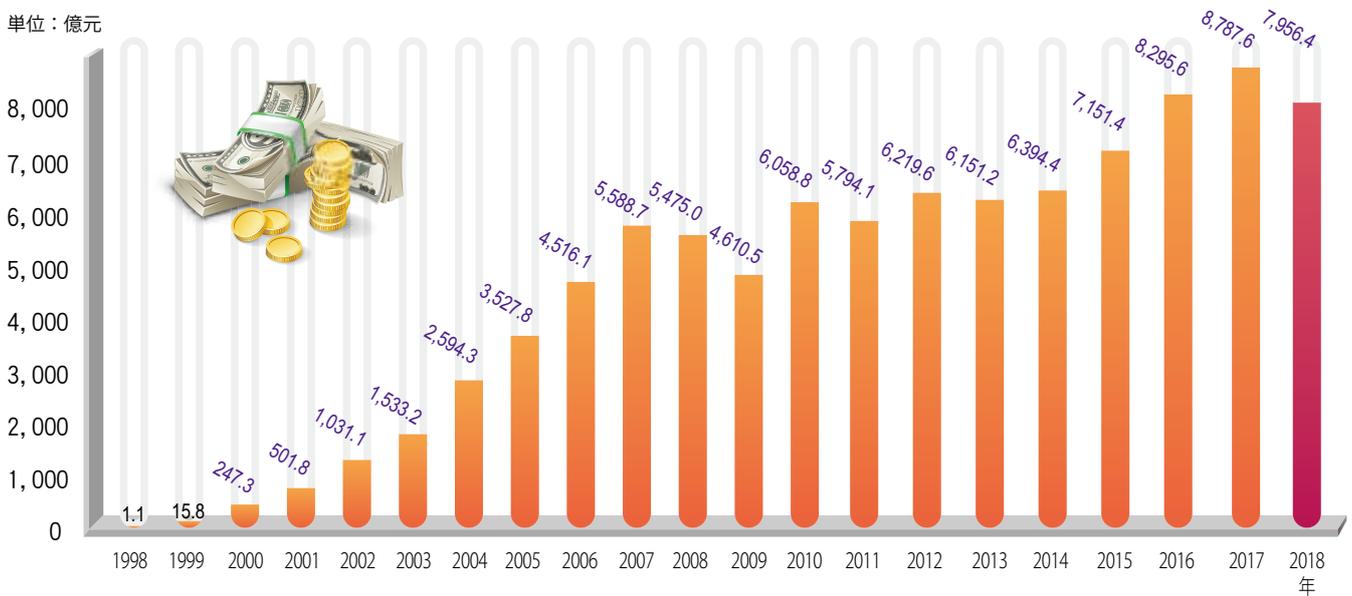
合計 230 社

2018年末の各産業の有効許可企業数

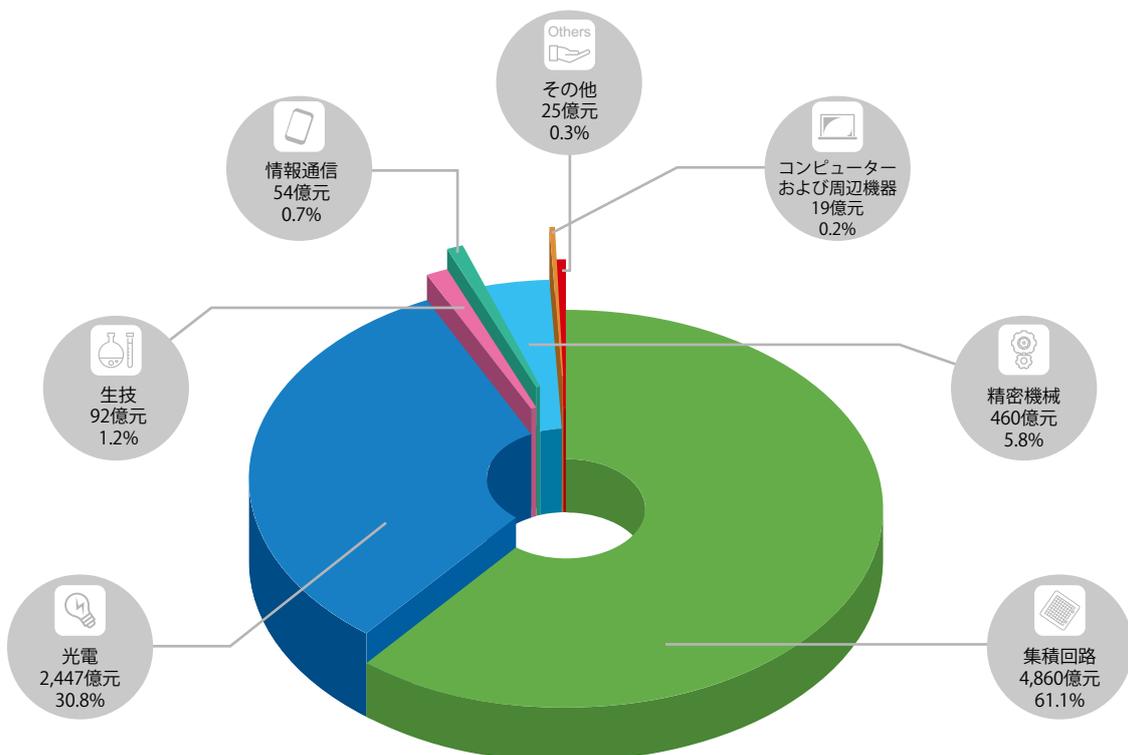
踊り場に入ったが万全に備えて好機を待つ

南科の2018年の売上高は前年度比9.5%減の7,956.4億円です。その内訳は、製造プロセスが進歩し、かつ国際競争力が強い集積回路産業の売上高は産業別売上高の一位で4,860億円、二位は光エレクトロニクス産業の2,447億円。また、売上高成長率一位は精密工業の13.2%、二位は通信産業の5.7%です。

単位：億円

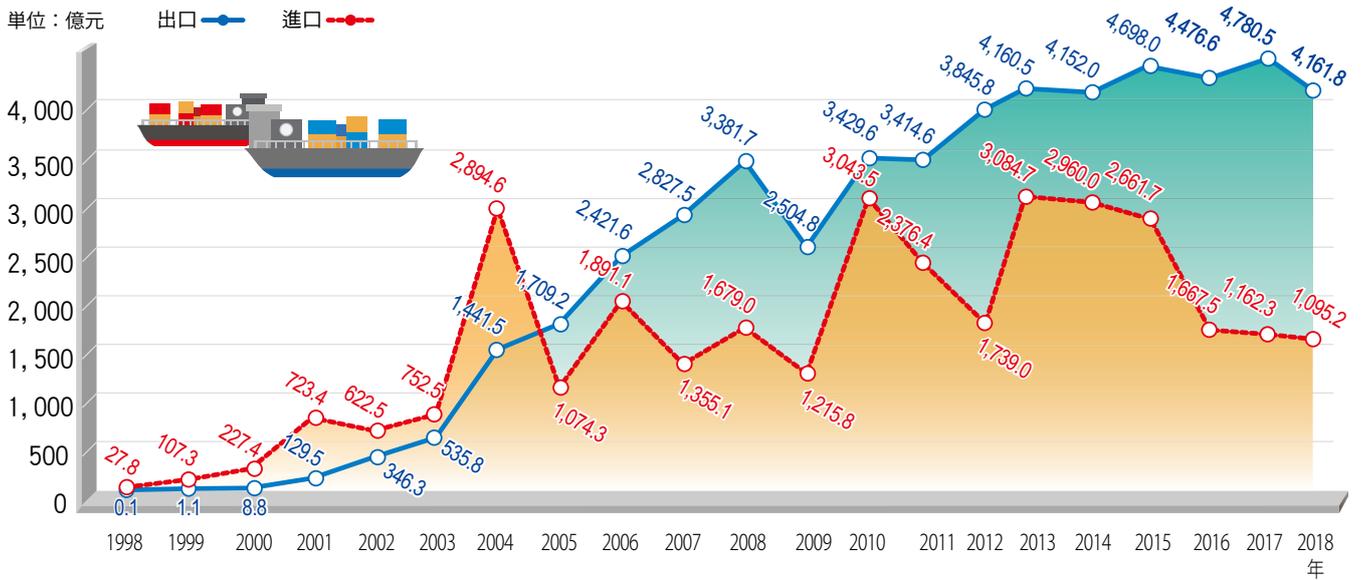


例年の売上高



2018年の各産業の売上高

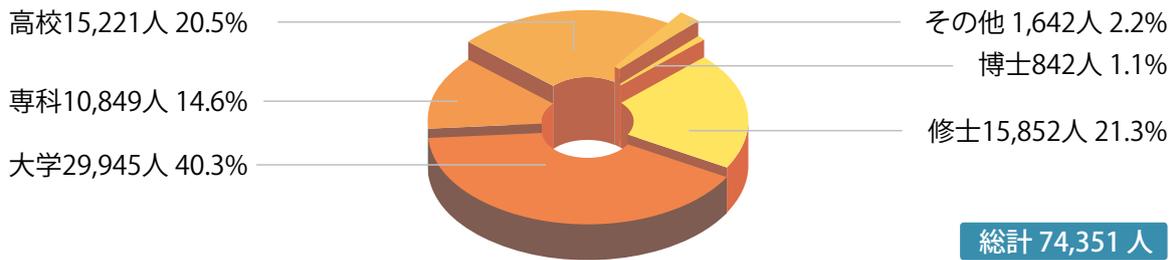
総計 7,956億円



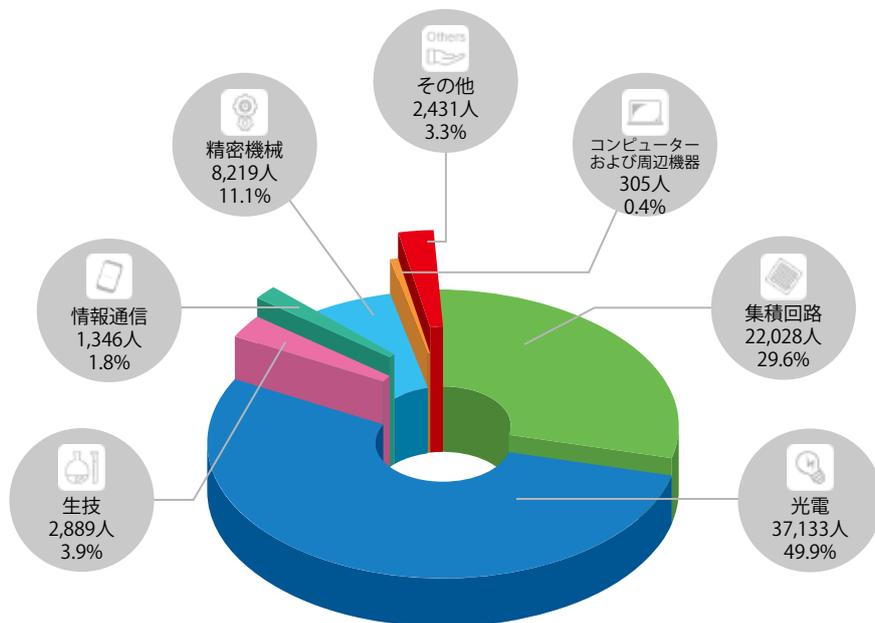
例年の輸出入額

良質な環境が優れた人材を生む

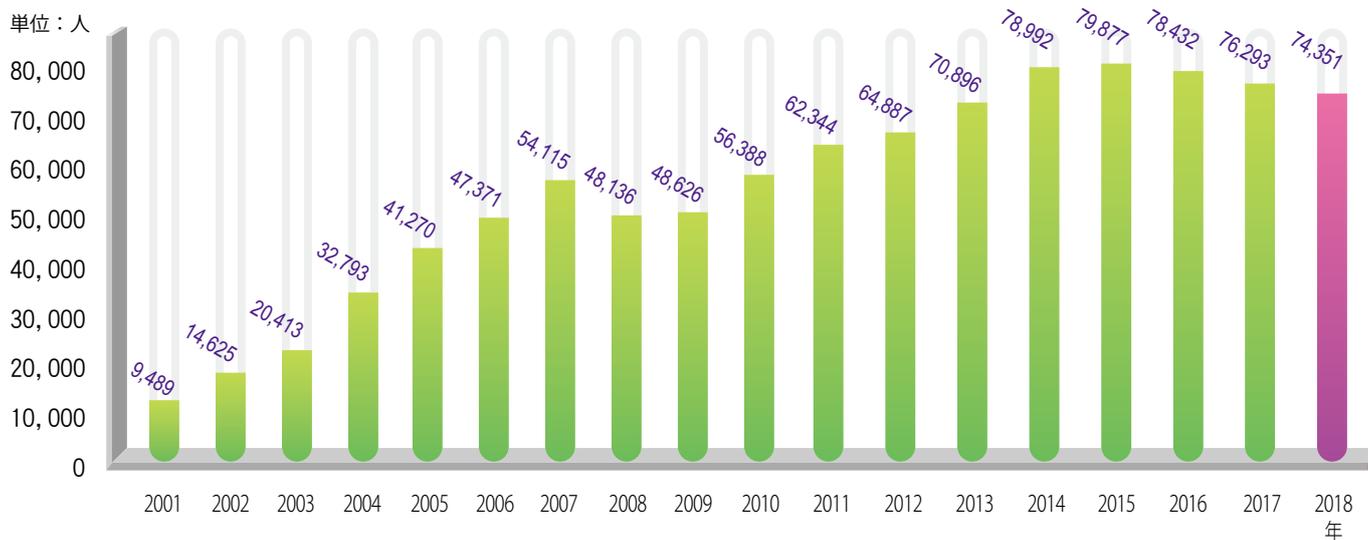
2018年末時点、南科の就業人数は74,351人、また投資情況も多大な成果を上げています。園區に優秀な人材を最大限誘致し、ともに素晴らしい未来を創造します。



2018年末の雇用人材教育レベル



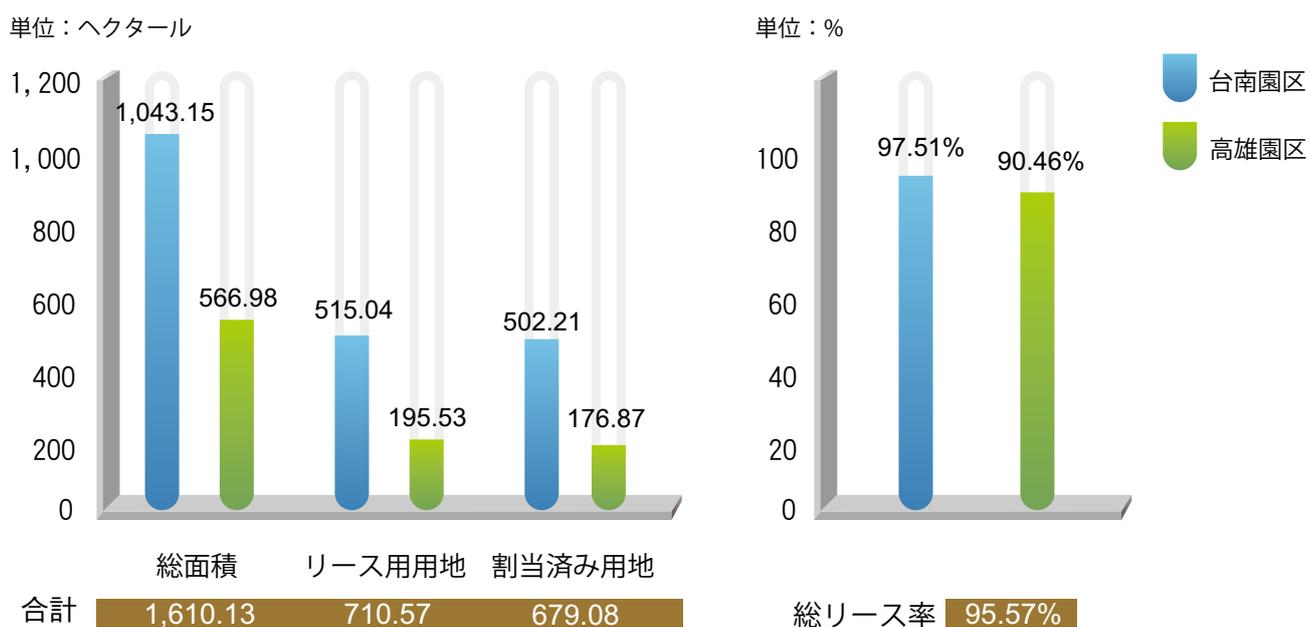
2018年末の各産業の雇用人数



例年の雇用人数

土地の賃貸率

南科の2018年の土地の新規賃貸企業は13社で、面積は53.12ヘクタール、工場の新規賃貸は19社で、合計34の事業所を貸し出しています。2018年末まで、台南園區の土地賃貸率は97.51%、高雄園區の賃貸率は90.46%で、南科の合計土地賃貸率は95.57%です。



2018年末の土地賃貸情況

半導体産業クラスターの強化



▲台湾積体電路製造TSMC新設工場の起工式（2018.01.26）

TSMCの5ナノメートル製
造プロセス工場建設

台湾積体電路製造TSMCは2018年1月26日に張忠謀会長を施主として18号第一期工場建設起工式を行いました。この18号工場は世界初の5ナノメートル製造プロセスウェハー工場になる予定です。

また、3ナノメートルプロセス製造の用地ニーズに応じるため、園区用地使用分区計画を検討し2018年12月19日に環境アセスメントの手続きによって台南園区環境影響評価書の審議を認可し、インフラ整備を進めています。



▲起工式にてスピーチをする台湾積体電路製造TSMC張忠謀会長 2018.01.26)



▲華邦電子WINBOND高雄工場起工式（2018.10.03）

華邦電子WINBONDは3,350億元の投資で高雄に進出

華邦電子WINBOND高雄工場は 2018年10月3日に起工式を行い、2020年に完成、2021年に運営開始の予定です。25ナノメートルプロセス製造を導入し、主な製品は「スペシャルティDRAM」「フラッシュメモリ」の生産を予定し、将来はIoT、知能システム、ファクトリーオートメーションなど産業メガトレンドの需要に繋がっていきます。

南科半導体座談会及び技術人材マッチング会

半導体産業チェーンのクリティカルマス効果を求めて、南科管理局は積極的に半導体プロセス技術やサプライチェーン・マネジメントの誘致を進めて、現地生産量の増加によって園區の半導体生産率を高めることを試んでいます。

南科管理局は「南科半導体産業クラスターマッチングサイト」を立ち上げ、企業のプロセス技術、人材面のニーズを調査し、2018年12月4日に「南科半導体座談会及び技術人材マッチング会」を開催し、園區内や園區外のサプライチェーン企業と南部の大学で関連する分野を学んだ学生をターゲットにマッチング会を開催し、園區半導体産業技術人材データベースを構築しました。将来、企業のニーズに応えるために専門技術を求める企業と学校人材の仲介やマッチングに活用する見込みです。



▲企業と半導体に関する南部学生人材マッチング会（2018.12.04）



▲スピーチをする南科管理局蘇振綱副局長（2018.12.04）

バイオメディカル産業の基盤固め

国際と繋ぎ 「新南向」へ

高雄医科大学附属病院は2018年3月31日に「グローバル先端歯科教育トレーニングセンター」を成立しました。センターの最大特徴はMIT先端デンタル製品を使用し、国内外問わず有名大学の教員を集結して先端歯科教育トレーニングカリキュラムに取り組んでデンタル製品をアピールし、政府の新しい南向政策のバイオメディカル産業の推進事業にも繋がっています。タイのチュラーロンコーン大学の歯科にも密接な協力関係を築きました。

創傷治癒のレベルアップ バイオメディカル産業の取り組み 高雄医科大学と連携

高雄医科大学附属中和記念病院は患者がより迅速な創傷治癒や美容修復の結果を出せるように南科管理局の支援の下、2018年10月25日に「創傷治癒及び高気圧酸素治療センター」、「再生医療及び美容修復プロセス体験ラインモデルセンター」を成立し、国内の三大創傷治癒学会それぞれと合意覚書を交わし、治療ケア、バイオメディカル製品の交流によってより良い効果が出せることを期待しています。両センターともに高気圧酸素治療を主に行い、その補助として整形外科外来をします。園区の双美、恵合、喜楽、亜果、健鑫、儕陞、泰陞、これらの企業の製品がプロセス体験ラインで採用されています。

京達国際デンタルインプラント学術フォーラム

園区企業の京達は初めて2018年11月9日に国際デンタルインプラント学術フォーラムを開催し、ポーランド、マレーシア、インドネシア、フィリピン、エジプト、ロシア、ヨルダン、バングラデシュ、ガーナ、ルーマニアから60人の医師や専門家を招待し、同時に普一、東昕、亜果、工研院3Dプリンターセンター、上慶、博美の6企業のデンタル製品も展示され、製品のプレゼンテーションも行いました。



▲高雄医科大学グローバル先端歯科教育トレーニングセンター開館式（2018.03.31）



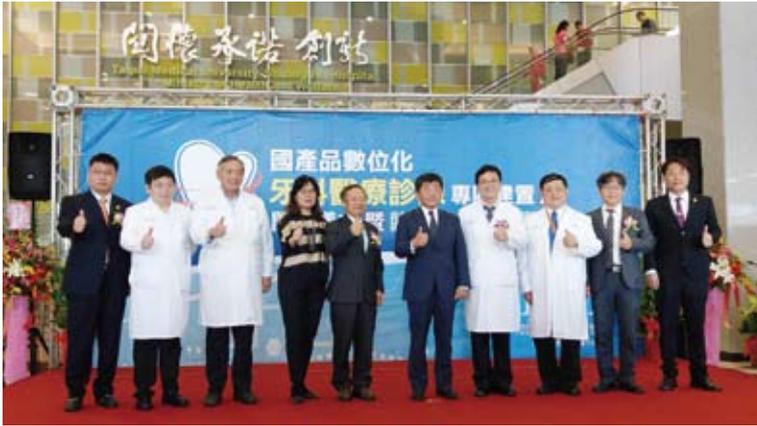
▲高雄医科大学再生医療及び美容修復プロセス体験ラインモデルセンター（2018.10.25）



▲大盛況の国際デンタルインプラント学術フォーラム開幕式（2018.11.09）

歯科診療プロセス体験ラインを積極的に運営

双和病院は2018年11月21日に国産医療製品を使用する歯科診療プロセス体験ライン専用エリア及びデジタルナビゲーションシステムを公開しました。双和病院副院長胡朝栄氏は南科管理局が長年にわたり医療機器産業に力を入れてきた結果、現在は国内唯一の歯科産業クラスターとなり、園区内では矯正器具、インプラント治療材料から歯科材料、器材、設備など歯科関連の製品は豊富に取り揃えていると説明しました。胡朝栄氏は双和病院の目標は準医療センター（医療センターは衛福部が認可する最高レベルの病院）、歯科部門に診療プロセス体験ライン専用エリアを設置し、完璧な医療環境の下に国産歯科器材を世に出し、国産品の良さをアピールし、国産品の信頼性を高めることだと言います。



▲双和病院歯科診療プロセス体験ライン専用エリア開館式(2018.11.21)



▲口腔内スキャナーを用いて入れ歯の製作する医師(2018.11.21)



▲南科歯科製品臨床試験成果発表及びマッチング会(2018.11.25)

南科歯科製品臨床試験成果発表及びマッチング会

2018年11月25日に「南科歯科製品臨床試験成果発表及びマッチング会」が開催され、台湾口腔バイオテクノロジー及び医療器材発展促進協会（以下略称TAPO）と連携し、園区企業と大学病院の臨床研究や試験の提携の促進、製品臨床運用データの集計、製品の信頼性や知名度を向上させました。南科デンタル医材企業皇亮生医、全球安聯、亜果生医、☒鼎科技、喜楽医療も同時に南科臨床試験計画の成果を発表し、医師、企業出席者らが製品とのマッチングについて熱心に語りました。

また、南科はTAPO会員大会と協力し、南科管理局の林威呈局長、金属センター林仁益理事長、台湾大学歯科部林俊彬教授、高雄医学大学劉景寬校長らを招待し、科技部謝達斌政務次長が国際バイオメディカルのメガトレンドについて、陽明大学鄭誠功教授は台湾医療器材産業の発展と現状についてスピーチし、製品の将来のメガトレンドを引き出すための関連研究により、来場者に有益な情報を発表しました。

航空宇宙産業市場への参入

グローバル企業を招き 最新航空宇宙産業について情報を共有

南科管理局が金属センターと提携し、2018年3月7日に「航空宇宙工業ビジネスチャンスフォーラム及び技術講座」を開催し、航空宇宙工業産業の最新ビジネスチャンスの情報や技術を発信、グローバルの企業雷神、漢翔、ダッソー・システムズも出席し産業情報を共有しました。

「航空宇宙工業ビジネスチャンスフォーラム及び技術講座」では国内企業が工業協力計画を通じて技術移転で航空宇宙産業特殊技術あるいは認証を取得し、より多く国際飛行機構造、航空用エンジンシステム、クリティカルパーツの市場に参入する経緯を説明；競争のグローバル化に向か

う台湾企業では低賃金国との価格競争や先進国の自動化技術に遅れているという問題を抱えていることから、将来国内企業はスマート製造技術を応用すべき、労働時間を短縮し、川上産業、川中産業、川下産業サプライチェーンの再編をし、境界領域や異業種交流を行い、全体競争力を高める必要があります。今回の航空宇宙工業ビジネスチャンスフォーラム及び技術講座も国内の航空宇宙工業企業に様々な情報や刺激をもたらし、ビジネスチャンスのルートを開発し、今後のビジネスチャンスフォーラムや技術講座の交流の拡大につなげました。



▲航空宇宙工業ビジネスチャンスフォーラム及び技術講座(2018.03.07)

航空宇宙工業積層造形技術研究会 グローバル航空宇宙産業市場へ参入

南科管理局は2018年5月22日に「航空宇宙工業積層造形技術研究会」を開催、航空宇宙産業において積層造形技術の最新情報や技術を発信し、成功大学、数可科技株式会社や工業技術研究院も参加、産業情報を共有しました。

積層造形法が実用化されるようになり航空機エンジン部品などへの適用が開始され、高温で使用可能、軽量化によ

る燃費向上、機械加工では難しい複雑形状金属部品の製造が容易、修理期間の短縮などの特性を持つため、新たな産業製造技術のトレンドになり、積層造形法を用いた製造産業の導入や、金属粉末の積層造形法、3Dプリンタ技術の研究開発に取り組み、全世界航空宇宙産業市場に一体となって進出します。

スマート製造クラスターを形成

南科スマート製造産業連盟の設立

南科管理局が園区企業や周辺産学研機構を集め、2018年1月23日に「南科スマート製造産業クラスター連盟」を立ち上げ、園区企業がスマート製造システム導入の際にサポートし、連盟の組合員を通じて各自の技術や研究開発能力を利用して企業の自動化システムの改善を図り、奨励助成プロジェクトによって企業の自動化製造プロセスを向上させました。



▲園区企業や周辺産学研機構を募り「南科スマート製造産業クラスター連盟」を設立(2018.01.23)

南科3Dプリンタ技術スマート製造クラスター発表会

南科管理局は国内の研究開発成果に基づき、南科3Dプリンタ技術産業と提携し3Dプリンタ技術産業の材料、クリティカルパーツ、ソフトなどの技術開発、人材の育成、産業技術を高めるため、法人は南科高雄園区で「3Dプリンタ技術医療材料スマート製造模範特区」を支持し、医療材料産業の試作サービスや学界の研究エネルギーを編成、科学園区内企業の参入を誘導し、2018年12月25日に科技部と共同で「南科3Dプリンタ技術スマート製造クラスター発表会」を開催、関連研究や潜在的産学研界の交流を促し、研究成果と3Dプリンタの上層、中層、下層の各産業とマッチングし、競争力をつける3Dプリンタ製品や多領域協同ビジネスチャンスを開拓しました。



▲南科3Dプリンタ技術スマート製造クラスター発表会(2018.12.25)

南科起業ラボ早期起業サービス

2018年末までに南科起業ラボが134のスタートアップチームをサポート、24チームが科技部リノベーション企業激励プロジェクト（FITI）優秀賞の起業資金200万円を獲得し、71の起業チームが会社設立に成功、12チームがサイエンスパークに加入し、9チームが育成センターに入り、28チームが政府及び学研機構より各種の助成金を取得、7企業の払込資本が増加し、合計1億元以上成長し、巧医生技、基可生医、台湾エアロゲル、永嘉光エレクトロニクスの払込資本増加額が最大になりました。



▲優秀な起業家たちと経験のシェア 立創生醫CEO劉建昇（左1）、建誼生技社長黃全德（左2）、元盛生醫電子CEO陳威宇（左3）安盟生技運営長兼共同創業者馬永霖（左4）

卓越の起業家たちと 経験のシェア

2018年に4回座談会を開催し、元盛生醫電子CEO陳威宇氏、立創生醫CEO劉建昇氏、建誼生技社長黃全德氏、安盟生技運営長兼共同創業者馬永霖氏らが起業の経験や成功の秘訣を語り、実務経験のシェア、企業チームに起業の方向性、運用可能な資源及び条件を分かりやすく話していただきました。

FITI先修育成プロジェクトを始動、起業チームを育成

スタートアップチームの実力をアップさせるため、2018年に「FITI先修育成キャンプ」を開催、南科起業支援助成制度を紹介し、プレゼンテーションのコツの講習会を行いました。2018年に3チームがFITI起業優秀賞を獲得し200万円の起業助成金を獲得（臻生技、中山液晶、FlipWeb數位資産仲介）、4チームが潜在力賞（AQUASEN、SMELL OUT、LUDO如茶科技、TFT臺灣優勢感測科技）を獲得し、実り豊かな成果を出しました。



▲科技部FITIプロジェクト南科起業ラボ優秀賞を獲得したチームの記念撮影。(2018.11.26)



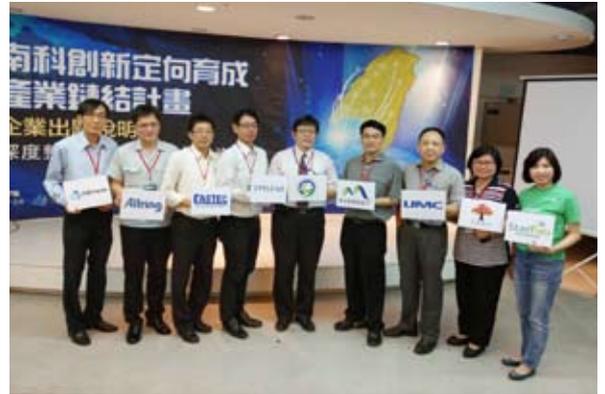
▲先修育成キャンプで講師とチームが熱弁を振っていました。(2018.05.24)

イノベーション定向育成企業とのつながり

南科成功企業と提携するスタートアップ加速プロジェクトは2017年から南台湾から展開し、2018年まで9企業と20イノベーションチームとマッチングを成功し、その中の2スタートアップチーム企業が一億元近くの戦略型の資金支援を得て、抜群の成果を収めました！



▲2018年南科成功企業と提携するスタートアップDEMOマッチング会で6企業と12スタートアップチームがマッチング成功。(2018.06.29)



▲南科成功企業と提携するスタートアップのテーマ説明会、南台湾7企業が参加(2018.05.04)



▲南科成功企業と提携するスタートアッププロジェクトによってスマート工場フォーラムを開催(2018.07.17)



▲国際共同イノベーション発表会でPivotal、FMM、InnoSmart及び台湾スタートアップ立普思(LIPS)が出席(2018.11.13)



▲Meet Taipei 2018「南科合流・定向共創」賑やかな会場になりました(2018.11.15)



▲Meet Taipei 2018「南科合流・定向共創」ゲストが会場前で記念撮影(2018.11.15)

2018年南科成功企業と提携するスタートアップのテーマはスマート製造、スマート映像、スマート金融です。7月17日、11月13日に「D Forumスマート工場フォーラム」、「国際学際イノベーション発表会」を開催し、国内外の専門家を招待してビジネスチャンス、イノベーションソリューション及びイノベーションを導入し製造業の転換をさせます。11月15日から18日にMeet Taipeiのイベントで12スタートアップチームが参加し、南科成功企業と提携するスタートアッププロジェクトの育成成果を世に出しました。

AI_ROBOTメーカースペース(Maker Space)を拡大運用

南科AI_ROBOTメーカースペースは国家レベルのイノベーションメーカー基地で、科学研究級の施設や上級AIロボット試作やテスト環境を整えており、現在では千人以上の会員が在籍し、SGS ISO9001：2015国際認証を取得しています。

メーカースペースの上級AIロボット開発エリアには、基礎的なものから高度なものまであらゆる設備がそろいました。駐在チームオフィスのインテリアもアイデアや個性が溢れて、グループディスカッション やブレインストーミングを刺激する最適な場所です。また、メーカースペースではAIロボット特許技術評価システムのサイトを開発し、実務常用評価メソッドをシステム化し、AIロボット開発産業に関するデータを運用し、より迅速に評価結果を出します。AIビッグデータを構築し、衛星基地など15ものビッグデータと提携し、映像分析などの産業運用に提供します。



▲南科AI_ROBOTメーカースペース拡大運用セレモニー(2018.07.18)



▲南科管理局局長林威呈、TAIRA優勝の10チームと記念撮影(2018.06.15)

世界初AIスタートアップ マッチングコンクール TAIRA

「TAIRA Final Pitch」イベントは2018年6月15日に登場しました。世界初のAIスタートアップマッチングコンクールであることから、国内外の100以上の優秀なチームが参加し、カナダ、日本、台湾の10チームが優勝し、立達ソフト科技は最優秀賞300万元の賞金を獲得しました。優秀賞チームはメーカースペースに進出し、三大企業（聯電、義大病院、京城銀行）と研究開発を提携します。

次世代に向けて FRC出場するチームを育てる

FIRST Robotics Competitionは世界で最も難しく、かつ有名なロボット競技の一つで、14歳から19歳までの学生限定のコンテストです。コンテストの成績はアメリカのアイビー・リーグの入学審査の重要な参考になっています。南科AI_ROBOTメーカースペースでは様々な資源と提携し、南部の高校の技術アップに力を注ぎ、2018年に中科管理局が主催するFRCプレーオフでは南科が指導する南科実中や協同中学は優秀連盟賞を獲得し、STEAM教育を世間に広めることを牽引し、素晴らしい成績を収めました。



▲FRC募金マッチング会、出場チーム、企業、ゲストの記念撮影(2018.12.15)

外へ目を向け グローバル化へ

2018年に南科AI_ROBOTメーカースペースはアメリカTechShop（テックショップ）、日本ソフトバンク（サービスロボット）、日本海外講師Setsuko Ishii（スマート農業）、フランス国立情報学自動制御研究所、シンガポール南洋理工大学（VR活用）など世界レベルの専門家を招き、講演会を開き、AI人工知能に関する技術や新たな仕組みを共有しました。

イノベーションAIルーツマッチング会

科技部と南科管理局は共同で2018年12月19日に「南部科学園区イノベーションAIルーツマッチング会」を開催、科技部は大いに力を入れて我が国のAIバイオームを構築し、企業の自動化やスマート化へをサポート、AIを通して産業競争力をアップすることを期待しています。

今回のイベントで園区企業の聯電、群創、瀚宇彩晶、頂正科技、美萌科技、建佳科技ら6企業に加え、博遠智能、行動貝果、灼灼科技、Memorence奇点無限株式会社及び台湾科技大学教授王靖維氏など6スタートアップ企業やチームがマッチング会に参加し、園区企業にはスタートアップ企業の製品技術や潜在的市場を紹介した。一方でAI技術を導入した製品や運用面の課題を模索し、双方のビジネス関係になる可能性を探し、協同するチャンスを広げ、ウィンウィンの関係を目指します。



▲アメリカTechShopの専門家がメーカースペースの運営について交流します(2018.03.29)



▲「南科イノベーションAIルーツマッチング会」園区企業やスタートアップ企業と交流(2018.12.19)

研究開発の躍進 産学連携

「サイエンスパーク人材育成サポート計画」を継続的に実施し、学校で産業連携型カリキュラムの実施を奨励、2018学年度に22件の申請案を受理し、6件の補助を認可、補助金額2,074万円で、企業にも3,658万円を出資、研究開発人材104人参入し、27位博士、修士を育成し、その成果は2018年10月23日「サイエンスパーク人材育成サポート計画2017年度成果発表会」で披露しました。

専門技術人材の育成

「2018年度専門性、技術人材育成及び産学提携計画」を継続的に推進し、企業向けラーニングコースを144時間、一般向けラーニングコースを18時間、インターネット配信ラーニングコースを95時間実施し、490科コース、延べ3,523人が受講しました。

中でも「先輩、教えて」というイベントを2018年5月14日、8月7日、9月6日、10月3日に開催し、園区5企業が12校151人の学生と交流し、企業に勤めている先輩たちと直接交流することによって、学生に産業のメガトレンドをより一層認識を深め、園区運営の様子を見学することで、企業の人材発掘にも繋がります。また、「当責」というフォーラムを開催し、講師の許于仁氏を招き、テーブルゲームを通じて園区企業人事担当者は反転学習を体験することによって会社の新しい文化を強化することの重要性を理解しました。また、学習を多様化するために、ネット学習サイトを立ち上げ、2018年10月9日に説明会を行い、現実とインターネット世界を組み合わせ、AIシンガポール「AISG」シンガポールのAI人工知能プロジェクトの参加者を招き、時差ゼロのネット生配信を行いました。



▲サイエンスパーク人材育成サポート計画2017年度成果発表会(2018.10.23) 泰陞国際株式会社社長朱國棟(左1); 鑫科材料科技株式会社社路科支社長林景扶(左2); 廣泰金属工業株式会社高科支社部長周宜錦(左3); 聯華電子株式会社副係長劉國義(左4)



▲「先輩、教えて」に参加した学生と園区企業代表の記念撮影(2018.08.07)

人材育成 サポートカリキュラム

「サイエンスパーク人材育成サポート計画」を継続的に実施し、学校で産業連携型カリキュラムの実施を奨励、2018学年度に17件の申請案を受理し、13件の補助を認可、補助金額900万円で、延べ千人以上の学生を育成しました。



▲三園区ライトポイントプロジェクトのリーダー、科技部主任秘書陳宗權と記念撮影(2018.08.20)



▲科技部主任秘書陳宗權、南科管理局局長林威呈、南科サポート計画のリーダーと記念撮影(2018.08.20)

三園区が2018年8月20日に「2017学年度サイエンスパーク人材育成サポート計画ー成果発表及び作品展」、三園区ライトポイントプロジェクトのリーダー（南科：正修科技大学/教授王納富氏、竹科：佛光大学/副教授羅榮華氏、中科：修平科技大学/教授歐崇仁氏）が成果について発表し、長官が作品を視察し、学生の作品を通じて長官やゲストらが産学連携のイノベーション成果の理解を深めました。



▲正修科技大学副教授蔡有仁がゲストに太陽光発電システム搭載自動車を紹介(2018.08.20)



安心な暮らし 豊かな生活

多様なサービス
目覚ましい成績
人材の育成

「希望の南科・誓約の地」建局15周年記念及び集団結婚式

南科管理局は2018年2月4日、「希望の南科・誓約の地」をテーマに掲げ、台南園區の行政ビル北側広場において管理局設立15周年記念祭と第14回集団結婚式を開催しました。2018年は24組の新婚カップルが喜びを分かち合いました。南科ではこれまでに364組のカップルが誕生しています。

若者に希望ある未来を見せ、南科は安心して仕事に励み、家庭を営むための拠り所となっているのです。

一番特別なイベントは南科幾米公園のゆるキャラ「祝福ベイビー」が登場し、新郎新婦たちに結婚、将来の出産、祝福するメッセージを伝え、多くの子宝を授かり、未永く、永遠に幸せな未来作りに励みましようと言いました。



▲南科建局記念—ゲストらが素晴らしい未来を育てる希望の種を植えた(2018.02.04)



▲第14回集団結婚式(2018.02.04)



▲南科道路交通情報センター(2018.02.09)

南科道路交通情報センター設置

第一期道路交通情報センター工事（基礎工事や監視システム）が2018年2月に完成し、引き続き2019年に道路交通情報収集のための道路側の第二期工事を開始し、2019年6月に完成の予定です。すべての情報のデータベース化によって南科道路交通情報センターに交通状況や交通規制、道路交通情報を発信し、より迅速に交通状況に対応や措置をします。

2018年健康園区・運動元年

2018年3月24日に「2018年健康園区・運動元年」のイベントを開催し、トップバドミントン選手戴資穎氏と科技部部長陳良基氏をアドバイザーとして招き、労働部職安署、衛福部国健署、教育部体育署、台南市政府、園区企業らが初めて提携し、健康企業、運動企業の認証、職場健康などをアピールし、2018年3月から毎月第三水曜日に迎曦湖夜ランニングを開催することを園区企業に呼びかけ、従業員の健康を管理しました。南科を健康園区にし、フレンドリーで安全な環境を整え、優良な起業や就業機会を作り、より多くの人材が参入し、一つの家族になることを目指しています。



▲2018年健康園区・運動元年(2018.03.24)



▲科技部部長陳良基とバドミントン女王戴資穎の親善試合(2018.03.24)



▲南科ナイトラン(2018.03.07)



▲2018年健康園区・運動元年セレモニー(2018.03.24)

就職博覧会—台南会場

台南市民と南科台南園區の企業が適切な仕事及び人材を探し、企業と人材のウィンウィンの目標を達成するため、また企業の人手不足や労働者の失業問題の解消も狙い、南科管理局と台南市政府が善化区市民センターで「2018年台南で暮らし 台南で働く 就職博覧会」を開催しました。計100社の企業が参加し、6,599の雇用機会を提供、台湾積体電路製造TSMC、聯電、群創光電などの有名企業からも参加し、3,000人の就職希望者が参加しました。



▲2018年台南で暮らし 台南で働く 就職博覧会(2018.03.17)



▲高雄で仕事が見たい(2018.08.11)

大型人材募集—高雄会場

高雄市の産業の発展及び求職者の雇用のため、南科管理局と高雄市政府勞工局就労トレーニングセンターが共同で2018年に「高雄で仕事が見たい」求人採用イベントを開催しました。約50社の企業が参加し、1,600件の雇用機会が提供されました。

日系企業小旅行 台湾を味わう

日本人社員が台湾の暮らしに溶け込めるように2018年4月8日に高雄の鳳儀書院の建築巡礼の旅を計画し、清の時代の科举制度について見学し、実践大学が内門宋江陣を取り入れ創作した「羅漢門の歌」ミュージカルの鑑賞、「総舗師」（辦卓）のシェフのことの五つ星レベルの「辦卓」（台湾でお祝いの時、レストランではなく、仮設の半野外の会場で盛大な宴会を催すこと）を堪能した。社員たちは家族を同伴し、活発な子供は台湾式おみくじの搏上杯に興味を示した。このように家族でイベントを通して、より土地の理解を深めました。



▲いきなり縁起がいい「聖杯」を出した(2018.04.08)



▲日本人社員が家族を連れ、高雄の鳳儀書院を見学(2018.04.08)



▲優秀従業員表彰式及びコンサート(2018.05.12)

優秀従業員表彰式及びコンサート

優秀な従業員を重視していることを示すために直近の3年、毎年樹谷園区の音楽ホールで表彰式を行い、優秀な従業員や優良な企業に感謝の気持ちを伝えます。2018年度には62人受賞者、職場の人権平等を推進した優良企業7社を表彰し、優秀な従業員とその家族を招待し、表彰される企業の管理職がイベントに出席し優良な従業員に感謝を示すとともに、会社の人材管理の細やかさを示しています。

健康生活館ジム無料体験

南科運動元年、従業員に健康の促進、心身を整え、ストレス解消などの面から運動習慣を身に付けさせることに賛同し、2018年7月から9月まで毎週木曜日に南科健康生活館ジムの無料体験を行った。施設内にはボクシングエクササイズ、バイクエクササイズ、トレーニング器材など充実した環境を取り揃えたことよって園区の従業員や市民らの健康、運動習慣を養い、心身共に整え、ストレス解消や健康的な娯楽の推進に努めました。



▲健康生活館ジム



▲インストラクターがボクシングエクササイズを指導



▲インストラクターがバイクエクササイズを指導

企業にGDPRの注意を喚起 レッドラインを踏み越えないためには

2018年5月25日よりEU一般データ保護規則(General Data Protection Regulation, GDPR) が適用され、個人の権利の保護だけではなくグローバル市場のルールに改善につながりました。南科管理局は2018年6月19日にダ・ヴィンチ法律事務所弁護士葉奇鑫氏を招き、園区企業にGDPRについて解析、説明し、対策など企業からの質問もその場で解答し、多くの収穫を得たという評価がありました。今回の説明会を経て企業も一般データ保護規則の対策をはかり、ヨーロッパの業務展開や一般データ保護規則違反による多額の罰金のリスクを減らします。



▲GDPR説明会(2018.06.19)



▲高雄園區多目的運動公園(2018.07.27)

高雄園區 多目的運動公園を提供

高雄園區公2公園は面積5.43ヘクタールのスポーツ公園で、ソフトボール場が一面、バスケットボールコートが三面、テニスコートが三面、スケートリンク（200フィート）がリンク、また子供向けレジャー施設など、園區従業員の多様なニーズに応えるレジャー空間です。

若者よ、給料事情を知ろう！

学生の南科への就職意欲を高めることを目的に、南科管理局は2018年の夏休み期間中に「若者たち！給料事情を知ろう」というイベントを開催し、南科産業発展現状を紹介しました。学生たちを送迎するために南科駅から無料シャトルバスを用意し、園區の重要企業（台湾積体電路製造、聯電、群創光電、瀚宇彩晶（ハンスター）、台湾コーニング）や園區を見学、台湾北部、中部、南部、離島を含め、40大学248人の学生が参加しました。



▲「若者よ、給料事情を知ろう！」大学生が見学に(2018.07.26)

工業安全環境保護月間

2018年10月1日から11月17日までの期間、「2018年南科工業安全環境保護月間」にあたり、専門家や学者を招待し、防災対策、安全管理関連の講座を開くなど様々なイベントを開催しました。環境教育活動や健康向上のイベントを開催することによって、園區従業員のストレス軽減を目指し、交流や学習による園區従業員の安全、健康意識を高めました。



▲工業安全環境保護月間一連行事—オープニングセレモニーのロードランニング(2018.10.15)

南科杯地域親睦コンペ

第19回南科杯地域親睦コンペが2018年9月29日に開催され、バドミントン、卓球、バレーボール、バスケットボール、ソフトボールの試合が行われました。地域親睦コンペは、毎年、園区の企業や周辺地域の多くのスポーツ愛好家の注目を集め、チームでエントリーしています。今回のコンペには193チームが参加し、南科の健康的でエネルギッシュなイメージを形成しています。



▲南科杯地域親睦ソフトボールコンペ(2018.10.22)



▲太陽光発電システム搭載ミニカーのレース(2018.11.03)

太陽光発電システム搭載自動車を動かし 老若男女 問わず喜ぶ

南科管理局は2018年11月3日に国立高雄科技大学、教育部南部太陽光エネルギー学校と「2018年13回南科太陽光発電システム搭載ミニカー親子チャレンジキャンプ」を共同主催し、千人以上の児童や保護者が揃って南科管理局前の広場で太陽光や飛行機などの科学専門知識を学んで、賑やかなイベントになりました。

2018年のイベント内容は例年にも増して多様性に富み、太陽光発電システム搭載ミニカーのレース、AIモ

デル車パフォーマンス、エコリサイクル材料で作ったモデル車レース、シルバー世代向け太陽光発電システム搭載ミニカー制作コース、手製飛行機の耐久コンクール、抽選ゲーム、回顧展、海波児童劇団「妖怪ウォッチジバニャン」の対面式パフォーマンス、高雄科技大学が開発した8代目太陽光発電システム搭載自動車アポロの試乗などがありました。

南科は台湾テクノロジー産業を支える一方、大衆科学教育にも力を入れており、今回のイベントで老若男女問わず簡単な組立てからセルフメーカーの精神を実際の作業で科学知識を学んでゲームのように学習できるということで評判を博しました。



▲手作り飛行機レース、制作から飛行まで学生のDIY(2018.11.03)

投資税務説明会 密接なサービスで台商を迎え

投資誘致サービスをより拡大するため、南科管理局局長林威呈氏、南区国税局局长盧貞秀氏、台南市政府財政稅務局局长沈盈如氏らが2018年11月6日に「投資税額控除に悩まないために 帰国企業向け税務説明会」というプログラムを立ち上げ、国外で活動していた台湾人による企業の帰国を迎え、税務に関する件に単一窓口を設置しました。説明会を通して企業に特注投資サービスや税務相談などの理解が深められ、台湾での投資税務申告を円滑に行い、より良い業績が見込まれています。



▲「投資税務説明会 密接なサービスで台商を迎え」(2018.11.06)資稅務円滑進む(2018.11.06)



▲局長林威呈、局長盧貞秀、局長沈盈如、同業公会、稅務士らが提携し企業にサービスを尽くす(2018.11.06)



▲「南科ビューティークリスマス」ライトアップイベント(2018.12.21)

南科のクリスマスイベントと正月ライトアップ

2018年12月21日に台南園区宿舍エリアの璞馨公園で「クリスマスイベントと正月ライトアップ2018」を開催されました。素晴らしいステージのほかに、無料の暖かい食事を用意され、来客者は心身ともに温められ、素晴らしい夜を過ごしました。ライトアップオープニング後、来客者は園区で飾られたイルミネーションを鑑賞しました。ライトアップは2018年小正月夜までです。

職場安全の実績が評価され、2018年イギリス国際安全賞 (International Safety Awards, ISA)優等賞を獲得

南科管理局は園區を安全で健康的、夢を追うこと、就職、結婚に最適な環境作りに尽力し、職場の安全性や健康管理の実績が評価され、2018年3月12日に英国安全評議会(British Safety Council)から 国際安全賞(International Safety Awards, ISA)という優等賞を獲得しました。職場の環境作りを国際的に認証されるのはかなり困難なことです。国際安全賞は世界中の健康、安全、従業員の福祉の管理良好な組織に与える賞で、国際的にも注目されています。2018年は世界各国から623件エントリーし、独立審査員が審査した結果、南科管理局は台湾で唯一、またアジアの行政機関としても唯一受賞しました。



▲ 2018年イギリス国際安全賞(International Safety Awards, ISA)優等賞(Merit)

ディーゼル車の排気を自主管理 三年連続市政府から評価

2018年に南科管理局は台南市政府のディーゼル車排気自主管理政策を支援し、南科園區で説明会を行い、園區事業者所有ディーゼル車排気自主管理の表記取得を応援し、市政府から「ディーゼル車排気自主管理環境保護優良機関」と評価されました。

建築物公共安全検査業務査定で優等を獲得

2018年の園區建築物公共安全検査業務に台南園區、高雄園區ともに内政部の指導する「2018年直轄市、県(市)及び特設主管建築機関実施建築物公共安全検査関連業務」によって優等査定を獲得し、優良かつ安全な環境を提供していることを評価されました。

建築物施工管理業務査定で最優良を獲得

2018年に園區建築物施工管理業務に台南園區、高雄園區が内政部指導実施「2018年建築物施工管理業務」によって最優良と査定され、園區の建築物の施工品質、安全、環境衛生が保証されました。

環保署2018年環境教育施設査定で優良評価を獲得

南科管理局は環保署が主催する2018年環境教育施設査定で報告書や現地審査を通して、公立私立問わず全国の施設で頭角を現わし、優良施設と評価され、全国科学園區や工業団地のなかで唯一賞を獲得した科学園區です。

南科園區はこれからも低炭素、スマート、イノベーション作りづくりの目標へ邁進し、より多様な環境にやさしい理念や措置を取り入れ、地元文化に溶け込み、持続可能なグリーン科技園區を作ります。



▲台南市政府觀光局が優良機関を表彰 台南市政府副秘書長李賢衛(左)と南科管理局副局長何晉滄(右)の記念撮影(2018.11.15)



▲環保署署長李應元から表彰(2018.11.13)

AI科技カリキュラムの目覚ましい成績

政府が近年推進しているAIロボットやメーカー教育の政策の下、南科管理局は支援を得て、2018年3月に南科実験中学校部教師蔡汶鴻氏、劉昀𠄎氏が初めて学生を引率しオーストラリアの世界最大ロボットコンクール(FIRST Robotics Competition(FRC))に出場、9位の好成績を獲得しました。2018年に高校部の生徒吳東育君が北門高校、徳光高校、建興中学と「mystery」チームを結成、加賀ロボレーブ国際大会に出場し、ラインフォロイング部門1位、スモーボット部門2位、ロボットバイト部門2位；中学部はアメージング部門3位、ジャスティング部門3位と4位、迷宮部門5、6位という好成績を獲得しました。2018年にカナダモントリオールで開催されたロボカップジュニア世界大会では中学部生徒葉丞峰君が「ロボカップレスキュー」の1位を獲得しました。



▲加賀ロボレーブ中学部ジャスティング部門3位(2018.11.11)



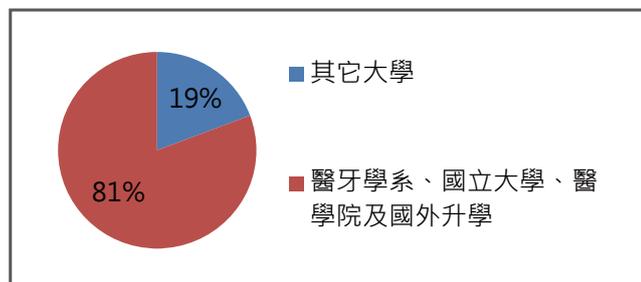
▲FRCオーストラリア戦(2018.03.08)



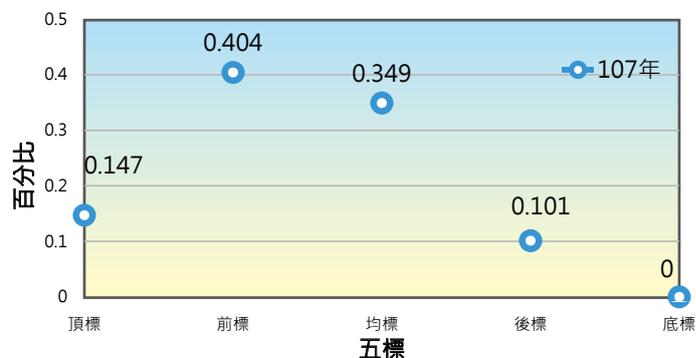
▲FRCオーストラリア戦当日(2018.03.08)

素晴らしい進学成績

2018年「繁星制度（成績優秀者対象の推薦制度）」による進学は南科実験中学卒業生13人が国立大学に合格し、史上最多になりました。学力試験の成績（五段階評価）は15%の生徒が最高レベルを超え、55%の受験生が平均点を超え、90%の受験生が全国平均を超えました。



▲南科実験中学2018年合格大学比較



▲南科実験中学2018年進学学力試験五段階評価パーセント比較

教員評価システムと教師専門学習共同体の認証度100%

南科実験中学高校部教師専門学習共同体では「文系学習共同体」と「理系学習共同体」がグループワークを通して教師の専門能力を高め、現在すべての教師が加入しています。

教育部教員評価システムを利用して100%の正式教員は初級認証され、8人が上級認証され、正式教員の36%に達しました。教員評価システムの利用によって、学校側が教員の専門能力を成長させ、学校に特色あるコースを作り、教員が専門学習共同体に加入することで、校外学習の方向性を示し、教員養成システムを作ります。



▲南科実験中学教員が台南市授業コース専門評価学習共同体年會に出席(2018.11.24)

科技部ハイスコーププログラム 科技部に引き続き優良校認定

2017年に優秀な成績を収めて、2018年に大学進学成績も好調であったことから、科技部ハイスコーププログラムにて第三期優良校と認定され、「科技山手線」プログラムで高校部門の優勝を獲得、高校教員授業部門と学生成果部門では特優を獲得しました。



▲第三期科技部ハイスコーププログラムに参加する南科実験中学ハイスコーププログラムチームの記念撮影(2018.07.20)

音楽芸術面の優秀な成績

南科実験中学の小学部の合唱部が2018年に第5回シンガポール国際合唱コンクール (Singapore International Choral Festival) に出場し、同声合唱部門金賞、民謡部門銀賞を獲得しました。吹奏楽団は2018年全国音楽フェスティバルに高校、中学、小学校管楽合奏コンテスト、金管五重奏四冠を獲得し、6年連続「全国」学生音楽コンクールで管楽合奏コンテスト団体Bグループの1位になりました。小学校の部では2016年から2018年において台南市音楽コンクール「同声合唱」の特優を獲得、2017年から2018年において「全国」学生音楽コンクールで「同声合唱」の特優一位を獲得、2016年から2018年において台南市音楽コンクール「リコーダー合奏」優等賞を獲得しました。



▲シンガポール合唱コンクール(2018.07.18)



▲吹奏楽団10周年記念発表(2018.06.10)



▲吹奏楽団とフランス芸術フェスティバル交流(2018.07.03)



▲南科実験中学のリコーダー・オーケストラと大湾小学校、三股小学校の交流(2018.05.09)



▲2018年全国中学校運動会の男子団体戦初金メダル (2018.04.24)



▲黄瑜翔、湯城が2017年、2018年全国中学校運動会テニスペア金メダル連覇 (2018.04.24)

テニス代表チームが全国中学校運動会で金メダルを連覇

南科実験中学スポーツの成績には目を見張るものがあります。中学校のテニス代表チームが2017年から2018年の全国中学校運動会の男子ペア項目で金メダルを連覇し、高校男子団体戦6位を獲得しました。また中学校のテニス代表チームは2017年の全国中学校運動会の男子ペアで初の金メダルを獲得し、文武両道の教育理念が評価され、南科実験中学の多元化発展の成果や特色ある学校作りが認められました。

南科実験中学の学習環境を整える

南科実験中学は小学校から高校までの12年一貫教育のカリキュラムにグリーンテクノロジーをコースに取り組み続けています。2017年から各種グリーンエネルギーテクノロジーを内容に盛り込み、小学部ではエネルギーテクノロジー教育プロジェクトを将来的に2019年度の授業概要として取り組むことを予定しています。台南芸術大学、モテックと提携し、太陽光発電を発展軸として太陽エネルギーを利用し5大教育場所の設置に取り組みます。

12年制一貫AIロボットカリキュラムに取り組む

2017年度から南科実験中学がAIロボット中心のカリキュラムを高校、中学、小学校に取り入れました。小学校部ではロボットの制作や体験を通して学習の意欲や興味を掻き立てます。中学部にはAIロボットメーカー (maker) の概念を生活科学技術カリキュラムに編成し、中学から簡単なプログラムと触れ合います。高校から生活科学技術や研究方法論にAIロボットメーカー (maker) 精神を盛り込み、国際ロボットコンクールに参加することによって学生の視野を広げます。また、中南部の高校に呼びかけ、人材育成を共同で取り組み、研究学習の環境をつくり、メーカー (maker) 養成をメインにするカリキュラムを編成しています。台南一中など24校が戦略連盟の意向書に調印し、南科実験中学を衛星基地として南科AIロボットメーカーの学習サイトを高校教育へ届け、南部の高校にAIロボットメーカー学習環境を整えます。



▲高校部AIロボット戦略連盟24校の調印式(2017.10.05)



持続可能な環境作り 「四生一体」

緑ある暮らし

芸術の趣



▲高雄園區「緑13号」用地(2018.05.29)

高雄園區散歩 多様な植物 目で楽しみ心を喜ばす。

高雄園區の植栽に特色を出すため、台湾国道1号線に面する「緑13号」用地の中心部に外側が緩い斜面の人工丘を作り出し、池にも変化をつけるため周囲にナンバンサイカチ、ラクウショウ、ヤナギなどを植え、春と秋の間に黄色や赤が織りなす四季折々の季節の変化が楽しみ、目と心で堪能できます。



▲群創テクノロジー株式会社と台南太康有機農業専区が有機社食契約書に調印(2018.02.06)

地産地消を推進 群創企業が賛同

2018年に群創光電は台南市政府が進める有機農業復興運動「有機野菜 地産地消」に賛同し、台南市政府を通じて台南太康有機農業専区と有機社食契約書に調印した。今後より多くの企業の参入を期待し、持続可能なグリーン園區を作り続けます。

また、2018年に教育効果や体験の楽しみを狙ったイベントを4回開催、イベントを通じて台南食材の新鮮さや自然をアピールし、南科の人により職の健康と安全性を発信し、南科管理局は地元食材のプロモーション活動や省エネルギーの努力を世に知らせました。



▲心絵彩意—王姿尹肉筆牡丹個展(2018.11.10)

新港堂 文化芸術と信仰の結び

新港堂一階は地方文化館、二階は鎮港元帥が祭神の廟になっています。2006年9月29日に落成し安座式典が行われ、南科や樹谷園區の信仰の中心となっています。

地方文化館では2018年度に6回の展覧会を行い、有名な芸術家や芸術団体、新市中学、美術サークルを招請し、作品やコレクションの展覧会を行いました。2018年の展示内容として、油絵、水彩画、国絵、水墨絵、洋画、立体彫刻など、各界の方々が訪れ、鑑賞、交流、指導を行っています。



▲新市中学第20期卒業生卒業成果発表会—夏日「芸群人」(2018.06.16)

南科晩春芸術文化フェスティバル

南科晩春芸術文化フェスティバルでは、毎年3～4月に6週間に渡って素晴らしいパフォーマンスやイベントが行われ「ふれあい、面白い、音楽を楽しもう」を趣旨に、日常のストレスを解消し、南科生活の質を向上させ、近隣住民との親睦を深めます。



▲南科晩春芸術文化フェスティバル

高雄園區第二期パブリックアート作品設置完了

「雾田気あり、Funあり、Futureありのテクノロジー芸術の街を作る」をテーマとして高雄園區パブリックアート第二期制作作業が完了しました。今回の作業ではランドマークの役割を果たす作品（1点）をはじめ、企業の製品や技術のイメージを取り入れ、工場ごとに特色を表す作品（3点）、園区内各地分散するストリートファニチャー作品（4点）、道路標識の役割を果たす芸術性標識作品（1点）、娯楽性遊具（3点）、及び高雄園區パブリックアートを普及させる参加式パブリックアート計画の計12点作品が設置され、2018年現在、台南園區では49点作品が設置され、高雄園區では23点が設置されました。



▲工場ごとに特色を表す作品／黄色電光甲虫(2018.03.10)



▲ランドマーク型芸術作品／同じ出発点からの飛行(2018.05.10)



▲ストリートファニチャー作品／時空を覆す—アルキメデス、プラトンと旅に出る(2017.07.13)



▲芸術性標識作品／文明記号3(2018.01.01)



テクノロジーと芸術の新しい結び、パブリックアート一般参加や芸術創作賞を獲得

全国243件の申請案の中から、南科は第6回文化部パブリックアート賞で「一般参加賞」、「芸術創作賞」を獲得し、園区企業の聯亜光電も「民間自主開催パブリックアート賞」に選ばれて、2014年以来二度目のパブリックアート賞を獲得しました。

今回審査員から高評価を得たのは「高雄園区工場ごとに特色を表す作品」プログラム、ミクストメディアに長けた芸術家を招待し、園区企業「友達光電」、「東台精機」、「益生生技」、「聯合骨科」と協力し、産業的要素と、企業家精神にインスピレーションを受けた。製造業者から提供された素材と技術を作品の原材料として使用し、芸術と技術の一体をテーマに、会社の産業上の特性に特化したパブリックアート作品を創作し、曲を生み出しました。

台南園区パブリックアート「南科未来展望プログラム」はプロの芸術家が若い芸術家を育成するために学生を指導し、園区環境や建物に新しい発想を持ち込み、園区に若いアイデアを入れ、活気ある雰囲気を作り出すことを狙いに立ち上げられました。

園区の北儒精密会社は第4回民間自主開催パブリックアート賞を獲得し、また聯亜光電も同じ賞を獲得しました。予算を投入するほか、自社企業精神を含め、現地環境と調和することで園区全体を芸術化しアートとアイデアで唯一無二のテクノロジー工場を作りました。



▲パブリックアート賞を獲得(2018.12.14)



▲各工場の特色を表す作品／心一つで未来を動かす(2018.03.10)



▲各工場の特色を表す作品／風のライン(2018.03.10)



▲モダンな先史時代人類の外遊—人骨パズル(2018.05.02)



▲モダンな先史時代人類の外遊—チームが人骨パズルを発表(2018.05.04)

モダンな先史時代人類の外遊

南科園区考古文化の理解を普及させるため、2018年に国立台湾先史文化博物館に依頼し、南科周辺の学校で「モダンな先史時代人類の外遊」イベントを開催。面白い道具を使って生徒の興味を引き、文化財の多様性、考古基本知識を理解させました。南科及び先史館南科考古館の遺跡を主体として、周辺学校と提携し、考古教育学習ネットを形成することで南科内外の交流を推進しました。



▲モダンな先史時代人類の外遊—陶器を作る(2018.04.11)



▲モダンな先史時代人類の外遊—記念撮影(2018.05.11)



台湾から国際化への布石

世界への窓

マーケティングアプローチ



▲日本経済省元事務次官菅原郁郎夫婦(左2、左3)日本台湾交流協会高雄事務所副所長山下文夫(右4)らが南科を訪問し、南科管理局副局長蘇振綱(左4)と記念撮影(2018.05.17)

朋あり遠方より来たる 南科が実力を披露

南科管理局は、2018年に国内外の110団体、延べ3,446人の来賓を迎えました。その中には、日本経済省元事務次官菅原郁郎訪問団、エンタープライズ・シンガポール（シンガポール企業庁）訪問団、アメリカアルゴンヌ国立研究所訪問団、フィリピンダバオ市(Davao City)訪問団、日本台湾交流協会訪問団、タイ貿易経済代表処視察団、ベトナム駐台北経済文化代表処訪問団、科技部台拉立科技代表团及び国立高雄大学訪問団など重要なゲストが訪問し、南科の発展が世界から注目されていることを示しました。



▲エンタープライズ・シンガポール（シンガポール企業庁）のMr Edwin Chow(右4)率いる訪問団が南科及びAIロボットメーカースペースを訪問 南科管理局副局長蘇振綱(右4)と記念撮影(2018.06.11)



▲アメリカアルゴンヌ国立研究所訪問団Dr. Norman D. Peterson(左2)らがAIロボットメーカースペースを訪問 南科管理局副局長蘇振綱(左3)と記念撮影(2018.06.12)



▲副市長Dr. Bernard E. Al-ag(左5)と国立中山大学東南アジア研究センター主任蔡宏政(左3)率いるフィリピンダバオ市(Davao City)訪問団は南科を訪問 南科管理局副局長何管滄(左4)と記念撮影(2018.08.10)



▲日本台湾交流協会高雄事務所副所長岩倉知明(右)一行が南科を訪問 南科管理局局長林威呈(左)と記念撮影(2018.08.21)



▲タイ貿易経済代表処視察団の駐台北代表Mr.Thongchai Chasawath(左4)一行が南科を訪問 南科管理局副局長蘇振綱(右3)と記念撮影(2018.08.23)



▲ベトナム駐台北経済文化代表処訪問団代表阮英勇(左5)らが南科を訪問 南科管理局局長林威呈(左4)と記念撮影(2018.10.26)



▲科技部台拉立科技代表团及び国立高雄大学訪問団らが南科を訪問 南科管理局局長林威呈(右1)と交流(2018.11.09)

ベトナムホアラックハイテクパーク園区管理局と協力覚書を締結

政府の新南向政策及び科技部の「サイエンスパークの海外進出、産業を牽引する」政策に基づいて、南科管理局は新南向政策に賛同する台湾企業を支援するために産業転換の生産拠点、団体戦の方法及び投資上の障壁を排除など、産業需要リサーチや全体調査の前作業を経てベトナムホアラックハイテクパーク園区を協力パートナーに決めました。

南科管理局は2018年12月4日にベトナムホアラックハイテクパーク園区管理局と協力覚書を締結し、ホアラックハイテクパーク園区管理局は区内の一区画をホアラックハイテクパーク園区の入区条件を満たした台湾企業を優先的に使用させることを約束し、双方のハイテクノロジー産業や園区の管理状況について意見交換しました。



▲南科管理局とベトナムホアラックハイテクパーク園区管理局が協力覚書を締結(2018.12.04)



▲台湾とベトナムの国際協力を約束し、代表の記念撮影(2018.12.04)



▲華南国際口腔展出展企業が南科ブース前で記念撮影(2018.04.02)

いざ世界へ・輝かしいメディカル製品 2018年 華南国際口腔展

南科管理局は2018年4月2日から5日まで皇亮生医、亜果、光宇、医百、科頂、普生、鴻君、東昕ら8社の園区企業を率いて、2018年華南国際口腔展へ台湾イメージ館の形で出展し、その場で受注を受けました。出展期間中、国薬グループ（広州）医療器械株式会社、東莞長安国際クリニック、春芽健康サービス技術株式会社を見学しました。

グローバル市場に目を向ける 医療 器材の実力発揮 2018年 春季CMEF展

2018年4月12日に南科管理局、台湾医療及びバイオメディカル器材工業同業公会、台湾医療介護補助具協会らが上海国家会展センターでCMEFスマート医療バイオテクノロジー産業サミットフォーラムを開催し、博鑫医電、華広生技、台湾医療介護補助具協会、全球安聯、方策科技、泰陞の6社を招待しました。台湾スマート医療バイオテクノロジー産業の展望及び製品発表会を行い、南科スマートバイオメディカル産業クラスターを紹介し、国際提携の機会を得ました。



▲お客様に製品の説明をしている華南国際口腔展で光宇株式会社社長黄啓明(2018.04.02)



▲CMEFスマート医療バイオテクノロジー産業サミットフォーラムで講演する台湾医療介護補助具協会理事長呂溪賓(2018.04.12)

南科バイオメディカル・十年一剣を磨く精神

2018年5月30日に開催された「2018高雄バイオメディカル展」に南科企業の鐘鼎、医百、康定など13社が出展し、デンタル製品、最先端脳神経外科手術術中ナビゲーションシステムや生体情報モニターなど国産最新スマート医療技術製品を展示し、スマート手術や遠隔モニターシステムをアピールしました。

アジア医療界の一大イベントの一つである「2018年台湾バイオテクノロジー展」Bio Taiwanは7月19日から22日まで台北南港展覽館で開催され、科技部と新竹、台中、台南三つの科学園區が共同出展し、台湾先端スマート医療技術や製品を展示しました。南科企業の艾克夏医療機器が出展したフェムト秒レーザーによるReLEx SMILE近視矯正手術機器、医百テクノロジーの術中ナビゲーションシステムが「2018台北バイオテクノロジー賞」のイノベーション金賞と優勝賞を獲得しました。



▲「2018年度台湾バイオテクノロジー展」南科出展者が南科ブース前で記念撮影(2018.07.19)



▲「2018年度高雄バイオメディカル展」に出展した南科バイオメディカル企業(2018.05.30)

医者の夢・南科から出発！ 2018年イギリスIADR

南科管理局は美萌、科頂、医百、亜果などの企業を率いて世界最大の国際的な歯学界最大イベントであるイギリスIADR会議に出席し、台湾大学附属病院医師王振穎氏が歯科医師ならではの視点から「歯医者さんのドリームファクトリー」をテーマとして南科企業の技術や実力、そして医師のニーズに応じたカスタマイズについて語り台湾のデンタル製品を宣伝しました。

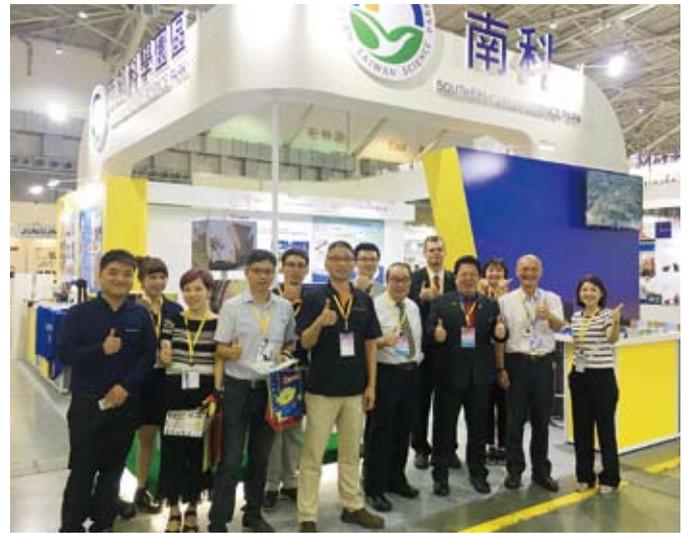


▲「2018年イギリスIADR年会」南科ブース(2018.07.25)

2018年台北国際光エレクトロニクス展 輝かしい南科

2018年台北国際光エレクトロニクス週間が8月29日から31日に台北世界貿易センター南港展覧館で開催され、今回は5大展の共同展覧会で2,500以上のブースが出展し、盛況を呈し、良き宣伝の場となりました。

2018年光エレクトロニクス産業の一大イベントに南科管理局は園区の立創光電、美環能、棕茂科技、鑫科材料らと合同で南科テーマ館を出展し大会を盛りあげました。



▲「2018年台北国際光エレクトロニクス展」出展企業 記念撮影(2018.08.29)

南科5大勇将 台南国際バイオテクノロジー・グリーンエネルギー展に出展

「台南国際バイオテクノロジー・グリーンエネルギー展2018」が、2018年10月に台南南紡世界貿易展覧センターで開催されました。南科管理局と園区企業の景岳、健鑫、開物、儕陸、美梭生技ら5社が共同で「南科テーマ館」を出展し、国際レベルの製品が展示され来場者の目を奪いました。



▲「台南国際バイオテクノロジー・グリーンエネルギー展」出展企業が南科管理局主任秘書鄭秀絨と記念撮影(2018.10.05)

2018年中華齒科器材展 国内外製品の信頼性を向上

南科医療器材企業をグローバル市場に進出させるため、南科管理局は2018年10月19日から21日に高雄展覽館で「2018年中華齒科医学第21回第2次会員大会学術講演会及び全国デンタル医材展」を開催しました。東南アジア、日本、アメリカ諸国の歯科名医が集結し、歯科の最新知識や先端医療技術を情報交換し、虫歯治療修復、歯科修復の現代治療、レーザー治療、家庭歯科、南科デンタルバイオメディカル産業などのフォーラムに参加しました。また、国際レベルの専門家たちを高雄園區に招待し、園區の産業バイオームを紹介、信頼性を高めました。現在、日本歯科大学は園區の製品に興味を示しており、南科管理局は引き続き両者の合意に協力しています。



▲デンタル医療材料産業フォーラムに出席したゲストと記念撮影(2018.10.20)

デンタル医療器材一大イベント 2018上海デンタルショー

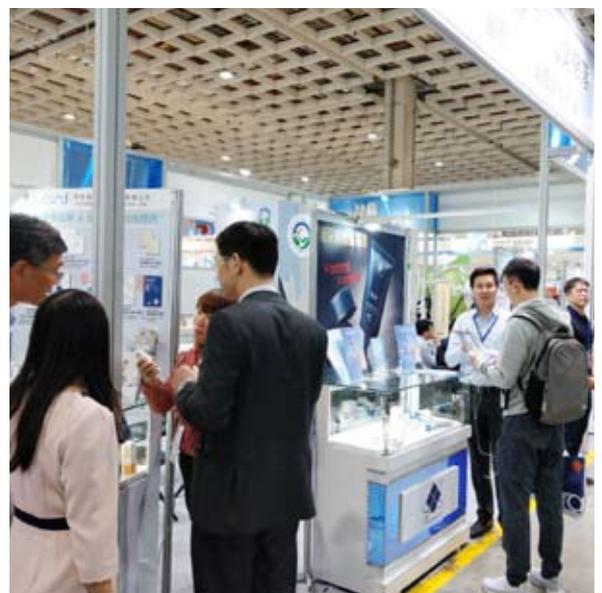
「2018上海デンタルショー」は2018年10月31日から11月3日に開催され、医百、光宇、皇亮生医、亜果ら4社が南科を代表して台湾イメージ館を出展しました。出展期間中、園區企業の全球安聯が上海で設立している上海聯植医療器械株式会社と当地デンタル医療材料販売大手である上海曼求蕊貿易株式会社を訪問し、現地のデンタル医療材料市場、マーケティング、運営ルート、医療材料製品の認証ルールを台湾企業が中国で工場を設立することのメリット、デメリットを企業の参考資料とするために視察しました。



▲医百テクノロジー株式会社社長黃大可(左1)がゲストに製品を説明し、実際に操作(2018.10.31)

スマート医療のトレンドに 2018年台湾医療テクノロジー展

「台湾医療テクノロジー展」は2018年11月29日から12月2日に南港展覽館で開催され、台湾の特色を持つ医療技術とICTを組み合わせて、国内ハイレベル病院と連携します。南科スマートバイオメディカル拠点を宣伝するため、南科管理局は「南部スマートバイオメディカル産業クラスターエリア」を設置し、病院外来の形で各種製品を取り入れ、南科医療器材企業15社を出展させ、「南部スマートバイオメディカル産業バイオーム」の効果をアピールしました。また「南科スマートバイオメディカル産業クラスター技術交流マッチング会」を開催し、来場者と現代治療法の組織工学、新たな創傷治療、核酸抽出装置、分子検査など新製品や技術について意見交換を行いました。



▲南科クラスター製品エリア(2018.11.29)

未来を見据えた南科のビジョン

産業体質を強化 産業クラスターを強固に

行政院が推進する産業イノベーション政策に従い、デジタルスマート化世界のトレンドを把握し、テクノロジーで産業イノベーションを支援、産業キーテクノロジー技術の研究開発を促し、産業レベルアップに繋がります；半導体、医療材料、航空宇宙産業などサプライチェーンの不足点を補い、誘致企業を見据え、サイエンスパーク産業クラスターの優位競争力を引き続き強化します。

園区資源の安定 持続可能な運営を保つ

科学園区用地の拡大あるいは新設するタイミングを検討、産業用地を確保する；同時に用水の供給源やリサイクル使用を拡大し、長期電力供給政策を完成しました。用水、電力の確保、ハイテクノロジー企業を誘致し、工業生産額や雇用機会を増やし、持続可能な園区運営に繋がります。

環境に優しく 「生産、生機、生態、生活」を重視

園区防災人員の命を大切に、ハイテクノロジー工場の屋内測位技術、VR/AR技術を運用し、世界レベルで安全なサイエンスパーク作り；引き続き節水、節電、グリーンエネルギー、樹の移植などの環境政策を実施し、開発による環境への破壊を最小限にする；園区と近隣住民の距離を縮め、環境や人文科学の要素を豊かにし、質の高い産業環境を構築します。

2018年の南科出来事

10日	台南園区湿地における蜚の再生、堤橋の美化工事完成
18日	南科起業ラボ同窓会
23日	「南科スマート製造産業クラスター連盟」設立

4日	南科成功企業と提携するスタートアップ加速プロジェクト企業説明会
12日	優秀従業員表彰式及びコンサート
14日	第一回 先輩教えてイベント
16日	南科起業ラボチームが春季2018Taiwan BIG DEMOに参加
17日	日本経済省元事務次官菅原郁郎夫婦と「日本台湾交流協会」高雄事務所副所長山下文夫らが南科訪問
22日	航空宇宙工業積層造形技術研究会
29日	南科高雄園区境界線緑地複層植栽工事(L26標) 竣工
30日	「高雄バイオメディカル展2018」に出展

6日	南科AIロボットメーカースペースTOP100イノベーションコンクールinシンガポールでSTSP-TAIRA Awardを授与
7日	航空宇宙産業ビジネスフォーラム及び技術講座
7日	南科ナイトランニング
10日-4月20日	南科晩春芸術文化フェスティバル
17日	就職博覧会—台南会場
24日	2018年健康園区・運動元年イベント
31日	「グローバル最先端 科教育センター」設立
31日	南科AIロボットメーカースペースコミュニティ連盟設立大

1月

3月

5月

2月

4月

6月

4日	創立15周年記念及び地域親睦イベント
6日	地元食材にアプローチし、群創テクノロジー株式会社及び太康有機農業と社食食材提供契約をしました。
9日	南科道路交通情報センター完成
27日	南科高雄園区用地における埋め立て工事(四)(T37標) 竣工

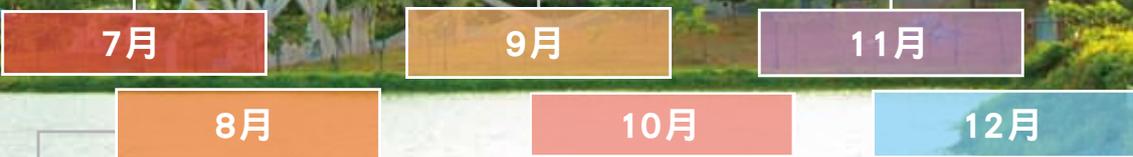
4-6月	モダンな先史人類外遊
2日	「2018年華南国際口腔展」出展
2日	行政院が台湾自来水会社の「曾文浄水場拡大工事計画」に補助金の交付を決定
3日	行政院が台南市政府の「南科台南園区用地使用計画変更(区外永久滞留池建設工事)」に補助金の交付を決定
8日	2018年南科日本企業の文化体験イベント
10日	世界最大規模航空機内装見本市「2018 Aircraft Interiors Expo」に参加
12日	「CMEFスマート医療バイオテクノロジー産業サミットフォーラム」に参加

1日	台南園区廃棄物リサイクルセンター最終処分場第三期工事竣工
7日	南科起業ラボ起業チーム(前沿科技、通潤)がInnoVEXIに参加
11日	南科起業ラボ起業家講座—立創生醫CEO劉建昇
11日	「エンタープライズ・シンガポール(シンガポール企業庁)」のMr Edwin Chowが引率する訪問団が南科、AIロボットメーカースペースを訪問
12日	「アメリカアルゴンヌ国立研究所」訪問団Dr. Norman D. Petersonらが南科、AIロボットメーカースペースを訪問
15日	南科AIロボットメーカースペースTAIRA Final Pitch
15-16日	2018南科[ai]メーカードリームフェスティバルイベント
20日	2018年度企業信用及び営業機密保護法説明座談会—一回目(台南園区)
26日	南科起業ラボ起業チームがFITI決勝戦で、中山液晶、臻威生技が起業優秀賞を獲得し200万円の起業助成金を獲得、AQUASEN通潤、SMELL OUTが潜在力賞を獲得
29日	南科成功企業と提携するスタートアップ企業DEMOマッチング会

6日	第三回 先輩教えてイベント
29日-11月10日	地域親睦コンペ南科杯を開催

7-9月	南科健康生活館ジム無料体験イベント
2日	2018年度企業信用及び営業機密保護法説明座談会二回目（高雄園區）
17日	D Forum 2018スマート工場フォーラム-台南会場
18日	南科AIロボットメーカースペース空間拡大起用及びTAIRAチーム歓迎パーティー
19日	「台湾バイオテクノロジー展2018」に出席
25日	イギリスIADR会議に出席
27日	南科高雄園區公2公園、線18線地工事(L15標)竣工

3日	2018年13回南科太陽光発電システム搭載ミニカー親子チャレンジキャン
9日	「京達国際デンタルインプラント学術フォーラム」に出席
9日	「科技部台拉立科技代表团及び国立高雄大学訪問団」が南科を訪問
12日	南科起業ラボチームが2018Taiwan BIG DEMO-テクノロジーチームエンジェル投資国際展覧会に参加
13日	南科成功企業と提携するスタートアップ国際イノベーション発表会
13日	環保署2018年環境教育施設査定で優良評価を獲得
15日	2018年ディーゼル車排気の自主管理を市政府に評価される
15-17日	南科起業ラボと南科成功企業と提携するスタートアップのチームがMeet Taipeiのイベントに参加
19日	2018年南科景観改善工事竣工
21日	「双和病院国産医療製品を使用する歯科診療プロセス体験ライン専用エリア及びコンピュータシミュレーション見学システム」に参加
25日	南科デンタル医療材料製品臨床試験成果発表及びマーケティング会
25日	南科AIロボットメーカースペースアソシエーション大会
26日	南科起業ラボイノベーションチームがFITI決勝戦に出場し、FlipWebデジタル資産エージェンシーが起業優秀賞及び200万円の起業助成金を獲得、LUDO如茶テクノロジー、TFT-台湾優勢感測テクノロジーが起業潜在能力賞を獲得
29日	永康排水処理場再利用用水契約に調印
29日	「2018台湾メディカルテクノロジー展」に出展



7日	第二回 先輩教えてイベント
10日	フィリピンダバオ市(Davao City)訪問団を副市長のDr. Bernard E. Al-ag と国立中山大学東南アジア研究センター主任の蔡宏政が引率し、南科を訪問
10日	經濟部水利署が「南科台南園區用地使用計画変更」排水計画書を決定
11日	「高雄で働きたい」人材募集イベント
20日	2017学年度サイエンスパーク人材育成サポート計画-成果発表及び作品展
21日	「日本台湾交流協会」高雄事務所副所長岩倉知明一行が南科を訪問
23日	タイ貿易経済代表処視察団の駐台北代表Mr.Thongchai Chasawath一行が南科を訪問
29日	「2018年台北国際光エレクトロニクス展」出展

3日	第四回 先輩教えてイベント
5日	「台南国際バイオテクノロジーグリーンエネルギー展2018」に出展
9日	「2018年度専門性、技術人材育成及び産学提携計画」説明会
12日	南科成功企業と提携するスタートアップ加速プロジェクトイノベーション成長キャンプ
15日	工業安全環境保護月間イベント
19日	2018年中華歯科医学会主催 第21回第2次会員大会学術講演会及び全国デンタル器材展
22日	機械式駐車場がリサイクルエネルギー認証を取得
23日	サイエンスパーク人材育成サポート計画2017年度成果発表会
25日	高雄医科大学附属中和記念病院が「創傷治療及び高気圧酸素治療センター」、「再生医療及び美容修復プロセス体験ラインモデルセンター」を設立
26日	ベトナム駐台北経済文化代表処訪問団代表阮英勇らが南科を訪問
27-28日	南科AIロボットメーカースペース 「勇気をもって夢を追う」成果発表会
27-29日	TAIRA成果展及びIBM連携始動セレモニー
31日	「2018上海デンタルショー2018」に出展

4日	南科半導体産業座談会及び技術と人材マッチング会
4日	配水池ソーラーパネル完成
4日	ベトナムホアラックハイテクパーク工業団地管理局と協力覚書を締結
12日	IEEE AVR専門家が南科AIロボットメーカースペースを訪問
14日	文化部第六回パブリックアート賞、「一般参加賞」、「芸術創作賞」を獲得
19日	南部科学園區イノベーションAIツールマッチング会
21日	南科のクリスマスイベントと正月ライトアップ
25日	南科3D プリンタ技術スマート製造クラスター発表会
26日	第四回「愛は南科から」南科愛心月間開幕記者会見
31日	2018年南科高雄園區公設及び道路改善工事竣工

2018南部科学園區年間報告書

発行：科技部南部科学園區管理局

発行人：林威呈

監修者：蘇振綱、鄭秀絨、陳瑞環、林秀貞、李國宏、董俊德、官嘉明

張秀敏、李信昌、林淑媛、郭秀盆、王豐益、曾榮傑、秦文智

編集陣：趙志寶、梁玉玲、黃泉發、蘇宏益、賴秧錕、林隆發、陳昱成

吳淑順、黃明慧

編集責任者：才有財、陳怡均

發行所在地：741-47 台南市新市区南科三路22号

電話：06-505-1001 / FAX：06-505-5812

URL：www.stsp.gov.tw

編集及び美術デザイン：博麗彩色印刷股份有限公司

所在地：807 高雄市三民区鼎仁街8号

電話：07-3423800

政府出版物統一コード番号：4810601084

出刊日期：2019年7月

創刊日期：2004年4月





台湾積体電路製造(TSMC)の第18号工場(Fab18)は世界初の5ナノメートル製造プロセスの量産工場となり、張忠謀会長はこの第18工場の着工式典には三つの意味があると言います。長期的な技術開発への取り組み、5~10%の売上高成長率を維持、そして最も重要なことは台湾により深く根付き、台南及び南科の発展に全力を尽くすことです。



科技部南部科学工業園區管理局

Southern Taiwan Science Park Bureau, Ministry of Science and Technology

74147 台湾台南市新市区南科3路22号

Tel : 886-6-505-1001 Fax : 886-6-505-5812

<http://www.stsp.gov.tw>

政府出版品統一番号 GPN 4810601084